

小6

国語

むずかしい

こたえ

なまえ

読解 姉の辞典

がっ にち

次の文章を読んで、問いに答えましょう。

辞	読	④
典	み	辞典への見方は、どう変わりましたか。はじめとあとがわかるように書きましょう。
に	に	
な	く	
っ	い	
た	古	
	い	
	辞	
	典	
	だ	
	と	
	思	
	っ	
	て	
	い	
	た	
	が	
	、	
	姉	
	と	
	っ	
	な	
	が	
	る	
	大	
	切	
	な	

①はじめ、ゆうなが新しい辞典をほしいと思ったのはなぜですか。 イ

ア お下がりがいやだから イ 書きこみで読みにくいから ウ 言葉がのっていないから

②辞典の書きこみは、何の印でしたか。本文から九字でぬき出しましょう。(9字)

姉が つ ま ず い た 場 所

③「姿が目にかんだ」とき、ゆうなはどんな気持ちでしたか。 ア

ア 姉も同じだったと知り、親しみを感じた イ 姉より先に気づけて、得意になった

ウ 姉のまちがいをおかしく思った

四月、ゆうなは姉のお下がりの国語辞典をもらった。ページのあちこちに赤や青の線と小さな書きこみがあり、表紙の角は丸くすり切れている。「読みにくいなあ。」ゆうなは、新しい辞典がほしいと思った。

ある夜、作文の宿題で「おもむろに」という言葉を使おうとして、ゆうなは辞典を引いた。見出しの横に、姉の字で「急に、じゃない！」と書いてあり、二重線が引かれていた。ゆうなも、急に、という意味だと思いこんでいたのだ。

ページをめくると、書きこみはほかにもたくさんあった。「気が置けない＝えんりよしくていい」「ここ、テストに出た」。どれも、姉がつまづいた場所の印だった。三年前の姉が、同じページで首をかしげている姿が目にかんだ。

作文を書き終えると、ゆうなはえんぴつを持ち直し、「おもむろに」の横に、小さく自分の字で書き足した。「わたしも、まちがえてた。」

④の採点のめやす 「はじめは読みにくいと思っていた」「姉のつまづきが残る大切なものになった」の2つが書けていれば正解です。答えの例と同じ言葉でなくてかまいません。

